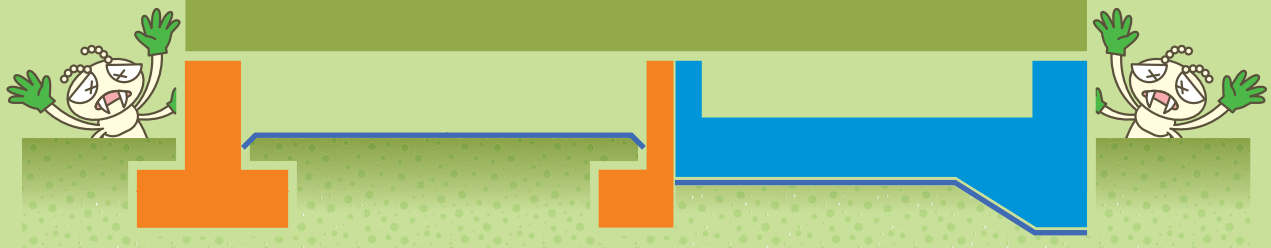


アリダンシート敷設物件に対応!!
 今あるアリダンシートを有効に活用する
 信頼の「**純正**」保証延長工法です!!

防蟻システム
アリダン
再施工用



布基礎



シート下
 (樹脂被膜形成工法)

土間
コンクリート

ベタ基礎



基礎際
 (アリダンペースト工法)

今お住まいの住宅には 当社のアリダンシートを 採用いただいております。



「アリダンシート」は信頼性の高い
「防蟻」「防湿」性能を有した床下土壌用シートです。

アリダンシート 3つの特長

1 薬剤を使用しない安全な
防蟻・防湿シート工法

2 防蟻・防湿の
二重効果を発揮

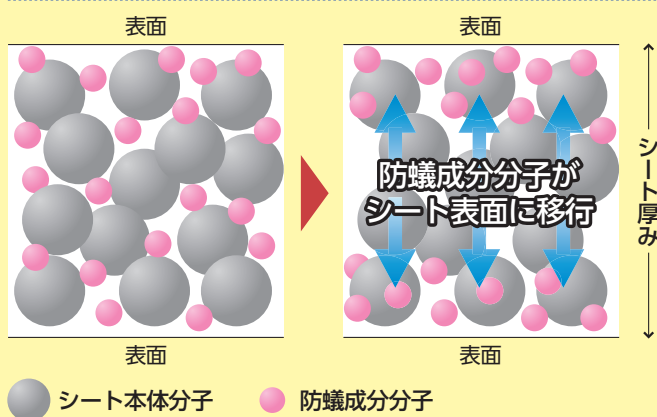
3 シロアリ経路の
完全遮断

アリダンシートの防蟻メカニズム

シート本体分子と防蟻成分分子が、互いに「相溶性」というなじみやすい性質を有しながらも、水と油のように反発しあっているため、防蟻成分分子がシート表面側へ追いやられるような挙動が起こる。

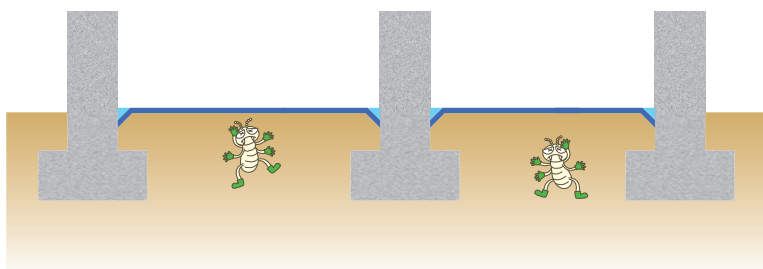
その結果、防蟻成分分子はゆっくりとシート表面に移行していき、シート表面で防蟻効果を発揮する。シート表面の防蟻成分分子は次々にシート内部から表面へと移行していくので、長期にわたり防蟻効果が維持される。

シート断面イメージ



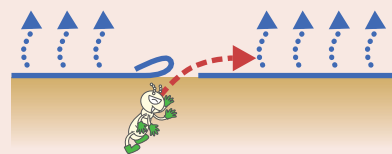
基礎の構造によって 「アリダンシート」は次のように敷かれています。

● 布基礎仕様の場合



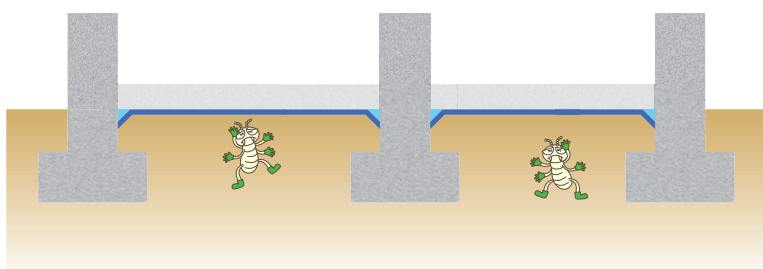
土壤面に「アリダンシート」が敷かれている。

10年以上が経過した 物件に考えられるリスク



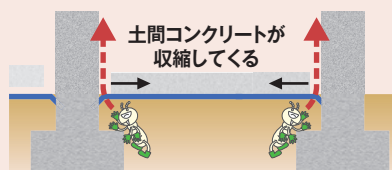
- 「アリダンシート」が露出している
ので薬剤成分が空気中に抜けて、
防蟻効果が薄れてくる。
- シートがめくれてシロアリが侵入し
てくる。

● 土間コンクリート仕様の場合



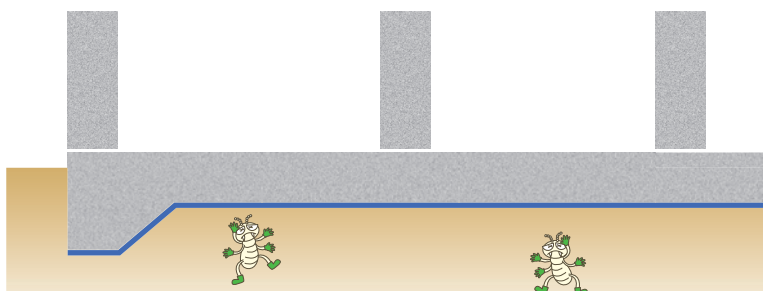
「アリダンシート」が敷かれた上に「土間コンクリート」が打設されている。

10年以上が経過した 物件に考えられるリスク



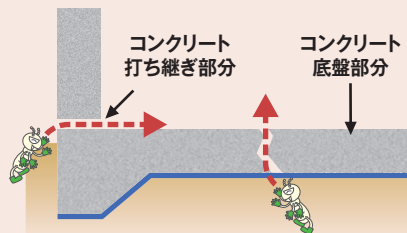
- 土間コンクリートの収縮によってで
きる隙間からシロアリが侵入して
くる。

● ベタ基礎仕様の場合



「アリダンシート」が敷かれた上に「基礎コンクリート」が打設されている。

10年以上が経過した 物件に考えられるリスク



- コンクリート打ち継ぎ部分の隙間
や、コンクリート底盤部分の経時的
なひび割れ箇所からシロアリが侵
入してくる。

これらのリスク回避のために、再施工をお勧めします。

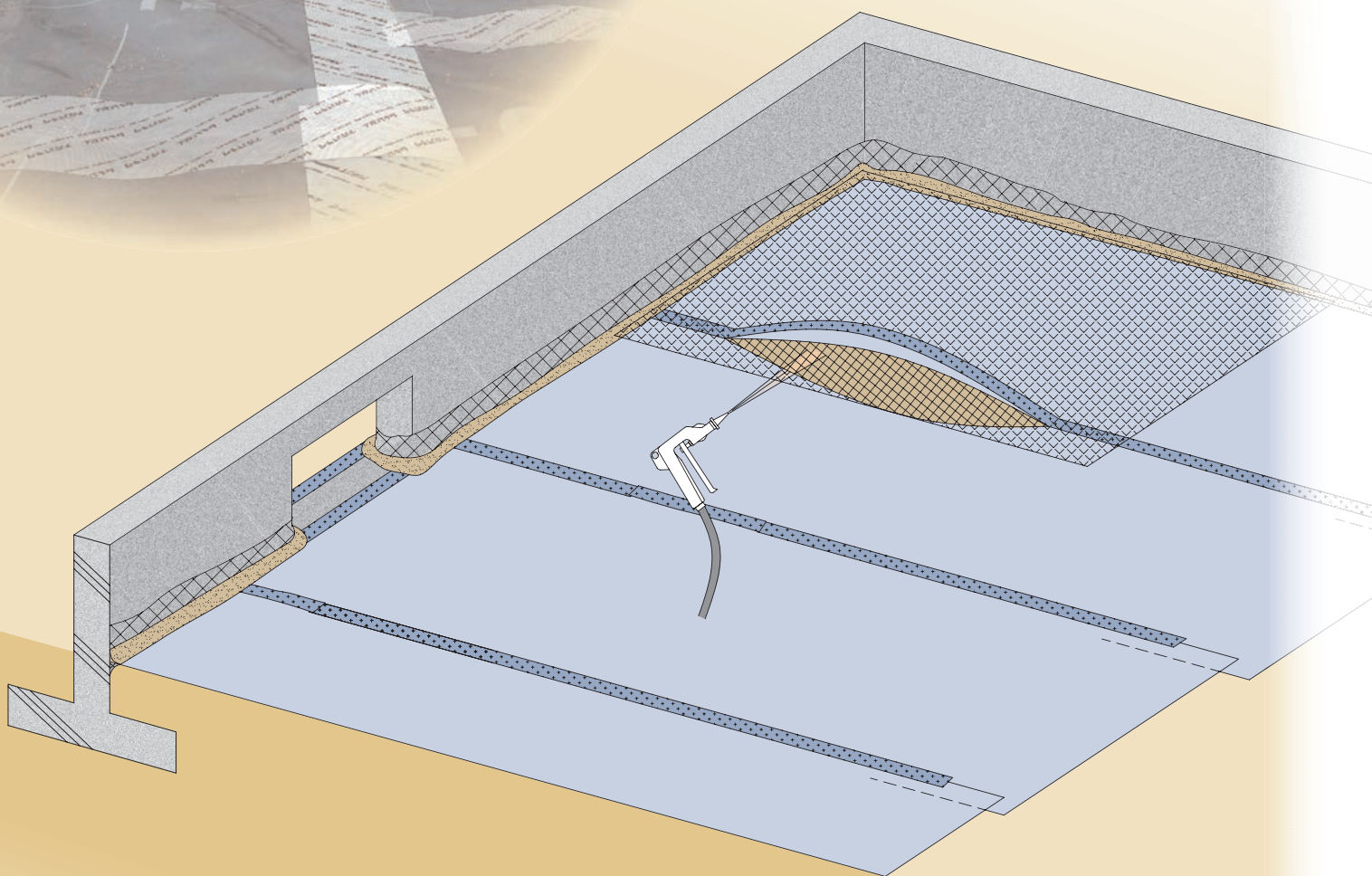
- アリダンの新築時の保証は**10年間**です。
- 10年を過ぎた保証切れ物件は、その後のシロアリ被害に対して、駆除
- 新築時に採用いただいた防蟻工法と同様の**再施工**工事による、

布基礎

土壌面にアリダンシートが敷かれている物件

皆さまのお宅の床下には、アリダンシートが敷き詰められており、床下に潜れば、そのアリダンシートが確認できます。

今回の再施工工事では、このアリダンシートの「防蟻」効果と「防湿」効果はそのまま、さらに「防蟻」効果を強化すべく、アリダンシート下の土壌に「防蟻」効果のある樹脂を吹付け、被膜を形成します。

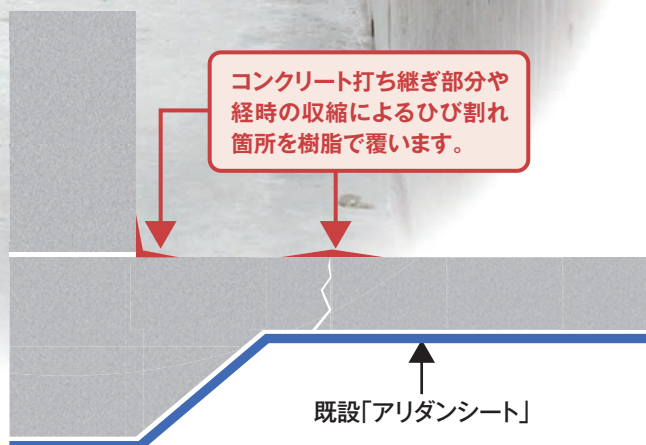


- アリダンの新築時の保証は**10年間**です。
- 10年を過ぎた保証切れ物件は、その後のシロアリ被害に対して、駆除
- 新築時に採用いただいた防蟻工法と同様の **(再) 施工** 工事による、

土間
コンクリート
ベタ基礎

床面にコンクリートが 打設されている物件

皆さまのお宅の床下には、アリダンシートが敷き詰められていますが、その上からコンクリートが打設されており、アリダンシートは目視では確認できません。
今回の再施工工事では、コンクリート下のアリダンシートの「防蟻」効果はそのまま、コンクリート打設面からのシロアリの侵入防止に注力します。



**アリダン工法は、薬剤を散布しません。
だから薬剤成分が床下空気中に拡散されないため、高い安全性を有しています。**

■ 薬剤成分揮散濃度の比較

一般的な住宅の床下で防蟻再施工を実際に行った際の薬剤揮散濃度(シラフルオフェン、イミダクロプリド)を測定

- 床下空間における薬剤揮散濃度(施工開始から2時間捕集)

従来の薬剤全面散布 イミダクロプリド
0.16 μ g/L

アリダン防蟻再施工 シラフルオフェン、イミダクロプリドともに
0.004 μ g/L未達 ※検査限界値 ➡ 薬剤揮散濃度が極めて小さく、安全性が高い

※薬剤散布には有効成分イミダクロプリドのみを含有した製品を使用

アリダン防蟻再施工は、
従来の薬剤全面散布に比べて

製品
使用量

約1/3~1/10

薬剤有効
成分量

約1/2~1/5

■ 製品使用量の比較

床面積約77㎡で防蟻再施工を行った場合の床下での製品使用量の比較

従来の薬剤全面散布 約240kg (薬剤有効成分240g)

アリダン防蟻再施工 **約23kg** (薬剤有効成分132g) ※アリダンペーストTN35Lの場合

アリダンペースト TN35L



- 有効成分：シラフルオフェン
イミダクロプリド
- 外観：オレンジ色ペースト状
- 用途：基礎際塗布用
防蟻ペースト剤
- 危険物区分：非危険物
- 毒劇物区分：普通物

アリダンペースト剤の 効力試験結果

試験方法

JWPAS-TS-S
(貫通試験)

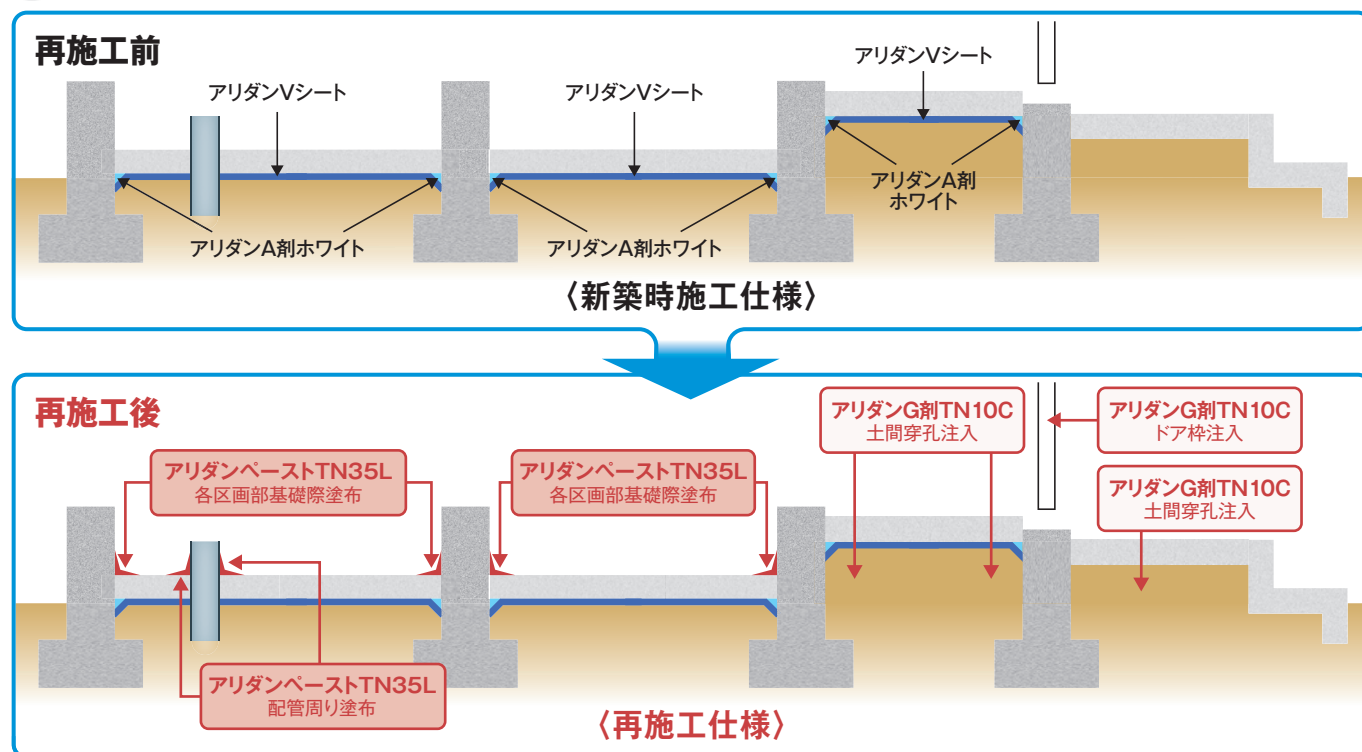
試験機関

財団法人
建築研究協会

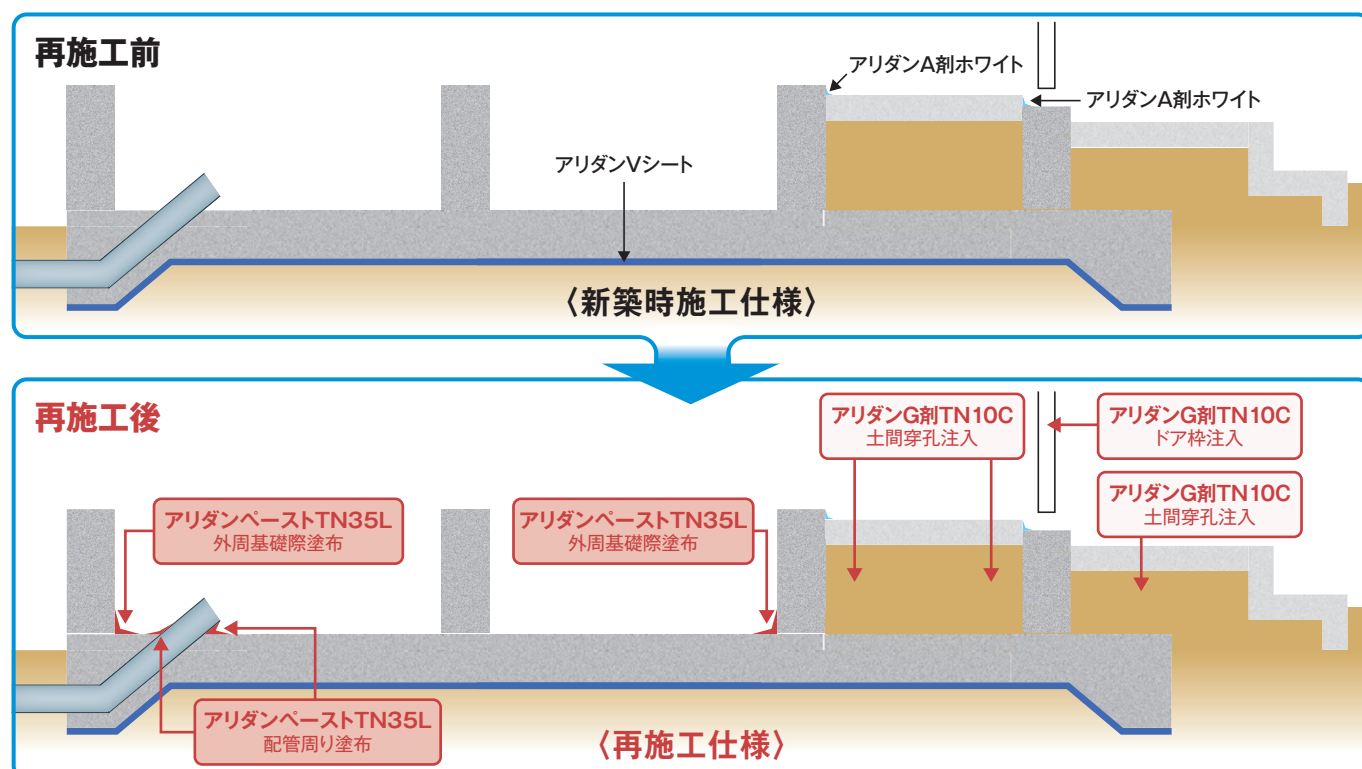
ペースト剤をシート状約
2mm厚に成形し、試験を
行ったところ、貫通され
ず、優れた防蟻効果を
発揮しました。

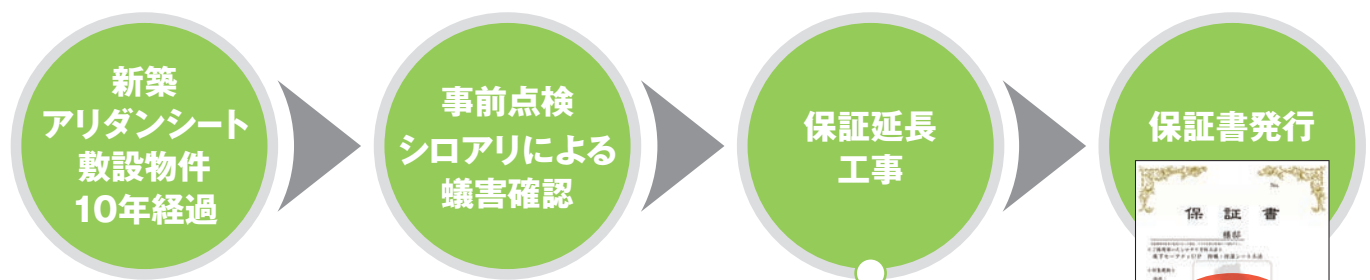
・修復費用が補償されません。
シロアリ予防と保証延長をお薦めします。

●土間コンクリート仕様



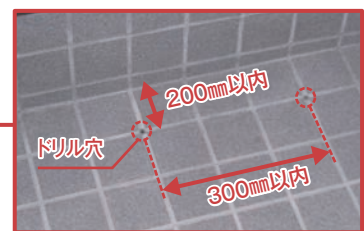
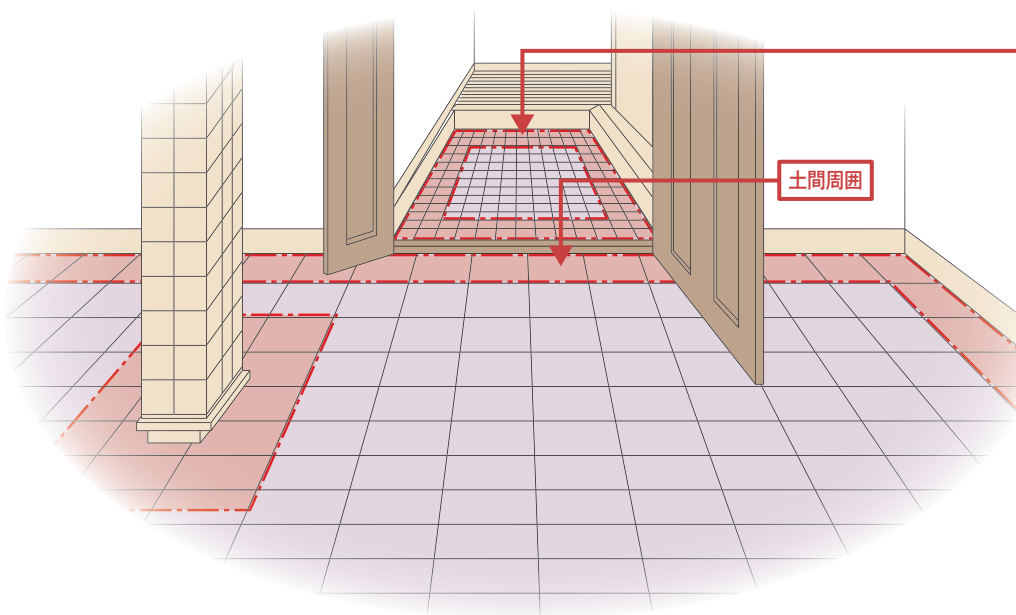
●ベタ基礎仕様





▶ 工事内容における注意点

前記に記した施工の他に、玄関土間・勝手口土間・ポーチ土間への薬剤の穿孔注入を行います。なお、この作業は下図の赤いエリアのタイル目地などに穴を開け、そこに薬剤を注入するものです。その後、この穴をモルタルなどでしっかり塞ぎますので、薬剤は飛散しません。



玄関土間やポーチ土間に穿孔(せんこう)する工事を行います。



穿孔後に薬剤を注入し、その後、穴をモルタルなどで埋め直して穿孔跡が残らないように処理します。

※タイル目地幅が5mmに達していない場合には、別途の処理を行わせていただきます。

■ 仕様部材

呼 称	形 状	形 態	成 分
● アリダンA剤TN20 ※オレンジ色		ロンテナー20kg入り(液状) ※希釈済	ワックス成分(樹脂分混入) 防蟻薬剤 イミダクロプリド
● アリダンペーストTN35L ※オレンジ色		ポリ缶3.5kg入り(液状) ※希釈済	アクリル樹脂(エマルジョン) 防蟻薬剤 シラフルオフェン イミダクロプリド
● アリダンG剤TN10C ※無色透明		ロンテナー10kg入り(液状) ※希釈済	水 乳化剤 防蟻薬剤 イミダクロプリド

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。／●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。 価格に消費税は含まれていません。



フクビ化学工業株式会社

本社／〒918-8585 福井市三十八社町33-66

東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500

宇都宮 ☎(028)636-3521

神奈川 ☎(03)5742-6301

静岡 ☎(052)855-2332

福岡 ☎(092)471-5800

岩手 ☎(019)673-8254

北関東 ☎(048)661-0400

新潟 ☎(048)661-0400

岡山 ☎(086)232-0601

鹿児島 ☎(092)471-5800

仙台 ☎(022)287-3471

千葉 ☎(03)5742-6301

北陸 ☎(0776)38-8010

広島 ☎(082)246-7211

沖縄 ☎090-1995-2980

<https://www.fukuvi.co.jp>

PDF A225 2026.08 (R6)